

5

小谷憲一



ティサイア

D  
S  
Anseason

PM 9:00

あの時私は  
完全に血迷っていた  
これは犯罪…  
それは百も承知だ

しかし  
逃がせば  
私の破滅は  
目に見えている

どう見ても  
十代にしか見えない…  
あれから3日間一言も  
喋らず暴れることもない  
全くの無抵抗…

氷のように  
冷めた視線を  
私に投げかける  
だけだつた

## 2nd FILE 26: THE KEEPER AND PRISONER

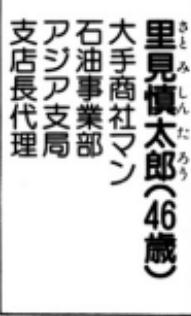
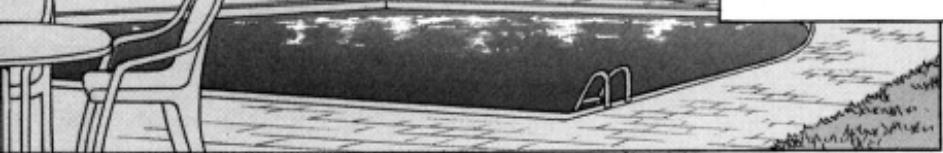


—千葉県 T市—

日曜日

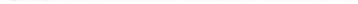
都心から約一時間半…  
広くてアール付きの家に  
住みたいという妻の  
要望もあり、数年前  
千葉県に居を構えた

体力的に  
通勤が辛くなり  
都内にマンションを  
借りたので  
ここに帰るのは  
月に2・3回程度だつた



大手商社マン  
石油事業部  
支店長代理部





妻や娘との溝はもう修復できな  
い所まできていた私はに残されたのは

崩壊寸前の  
4日前…  
私生活と  
内派閥で  
疲れ果て  
精神状態は  
最悪だつた

精神科の  
クリニックに  
通院すること  
考えたが

支局長の  
内示を貰つた  
ばかりなので  
やはり抵抗が  
あつた



帰宅途中  
だつた  
ビルの隙間に  
妙な塊が…

目を凝らして  
よく見ると…

…



誰か倒れて  
いる!?

だ…





ストレスで頭が混乱し  
血迷ったのか？

暗がりに  
浮かび上  
細くて白  
欲望が蠢  
いが脚  
いたの  
か！？



十代  
…  
!?

可愛  
い

気が付いて  
私のような中年男が  
部屋へ連れ  
込んだなんて分かったら  
太騒ぎされる!!



我に  
返つた!!

思つても  
いいなかつた  
美少女に



いや  
だめだ  
…  
一  
連絡を  
警察に  
して  
るん  
だ  
…  
何を  
か  
連絡  
を  
…  
車  
か  
救急  
を



何故  
ここへ  
運んだのか  
…  
何を  
訊かれた  
ら  
何と  
答える  
んだ!!





逃げられたら  
警察に駆け込まれる  
そんな事にな  
なつたら人生は  
私の人生は  
破滅だ

こうなつて  
しまつた以上  
ここから  
出すわけ  
にはいかない  
大声  
出したら  
またふさぐ  
からね

それか  
喋れ  
ないか

い年は  
いくつ?

名前は  
き君

改めて彼女の  
息を美しさに  
呑んだ

こんな女の子を  
：罪悪感で  
胸が張り裂け  
そうになつた

ケガは見た所  
何も無い  
病院は大丈夫だろう  
こうして  
彼女との監禁生活が  
始まつた

僕なんかと  
話したくない  
名前  
だけでも  
教えて  
かくれない  
分かるけど…

監禁 5 日目

